

平成24年度 事業報告書
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

特定非営利活動法人
児童虐待防止全国ネットワーク

1 事業の成果

児童虐待防止シンポジウム事業では、1回目は東日本大震災で被災した子どもをめぐる社会的養護のあり方について理解を深めた。2回目は、地域における児童虐待防止の取り組みについて報告・意見交換をし、社会的養護分野と健全育成分野の協働の必要性について認識することができた。啓発事業では、オレンジリボンマスクの配布等を通じてオレンジリボンの認知度を高めるとともに、各地の企業・団体と協働してオレンジリボン運動を展開することができた。他団体との連携事業では、日本子ども虐待防止学会での啓発、児童虐待防止の先駆的取り組みの支援、被災した子どもへの支援者の育成を図る事業を行った。これらの活動により、児童虐待に関する社会の認識を深め、今後の児童虐待防止の活動に貢献することができた。

2 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
児童虐待防止シンポジウム事業	「東日本大震災から1年～被災した子どもへの支援をめぐる社会的養護の現状と課題」をテーマに、里親、児童養護施設、児童相談所、研究者とそれぞれの立場から震災・津波被害にどのように対応したか、なにが課題かについて報告・意見交換を行った。	平成24年6月17日	星陵会館	約20人	約220人	1,165
	「地域で取り組む子ども虐待の防止」をテーマに、放課後児童クラブ、子育てサークル、訪問型親支援等の活動を通じて地域での児童虐待防止の取り組みや健全育成分野と社会的養護分野が一体となった児童虐待防止のあり方について報告・意見交換をした。	平成25年1月27日	発明会館	約15人	約120人	1,185
児童虐待防止啓発事業	オレンジリボン配布活動 児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボンやオレンジリボンバッジ、マスクの配布、さまざまなキャンペーンへの参加等により、児童虐待のない社会の実現を目指す啓発活動を行った。	通年	全国	不特定多数	不特定多数 リボン配布数(約5万3千個) マスク配布数(約15万枚)他	18,067
	オレンジリボンポスターコンテスト 一般への啓発を目的に、全国の美術系専門学校生・大学生等を対象にオレンジリボンを用いたポスターのデザインを募集し、参加企業とともに啓発活動を行った。	平成24年4月～11月	全国 (表彰式：日比谷公会堂)	10人	約430人	1,723
	オレンジリボン共催事業 当法人の支援団体に11月の虐待防止月間を中心に虐待防止のイベント共催を呼びかけ、全国11団体とともに虐待防止の啓発活動を行った。	平成24年度中	東京・愛知・長野・滋賀・岡山・和歌山など11か所	11団体	不特定多数	2,910
	虐待で命を落とした子どもの鎮魂集会事業 児童虐待で命を落とした子どもの冥福を祈り、虐待のない社会を目指すための集会を実施した。	平成24年11月23日	日比谷公会堂	約100人	約580人	4,274
	子ども虐待防止のための講演、研修および取材	随時	不特定	2人	不特定多数	0
目的を同じくする団体との連携事業	子ども虐待防止推進助成事業 子ども虐待防止の先駆的・開拓的又は研究的な取組を行っている団体に対し、経費を含むさまざまな助成をし、当該団体と連携した子ども虐待防止の推進を図った。	平成25年3月	東京・愛知・茨城・大阪・兵庫・福岡	6団体	不特定多数	2,946
	プレイメーカー・プロジェクト 東日本大震災で心に傷を負った子ども達のケアを担う専門職を対象に支援のスキル向上を図るため、講演会・講習会を宮城県子ども総合センターとの共催で実施した。	平成24年4、5、12月	東京・大阪・宮城など	約100人	約800人	7,504
	日本子ども虐待防止学会との連携により、オレンジリボンを通じて児童虐待防止の啓発を行った。	平成24年12月7-8日	高知県高知市	1人	約2,000人	384

(2)その他の事業

該当なし